

カラスビシャク

【 *Pinellia ternata* 】

科名 サトイモ科

属名 ハンゲ属

薬効・用途

球茎（半夏 ハンゲ）は、すぐれた鎮吐剤で吐き気を鎮める作用のほかに、のどがはれて痛むときや腸がゴロゴロ鳴って苦しいときにも用いられる。小柴胡湯、半夏厚朴湯、小半夏加茯苓湯、半夏瀉心湯、小青竜湯、半夏白朮天麻湯などの漢方方剤に配合される。



・花期：5～8月

備考

多年草。半夏特有の「えぐみ」があって単独では飲みにくく無理に飲むと逆に嘔吐をする場合があるので、生姜を加えて用いると飲みやすい。名前の由来は、花の形を柄杓（ひしゃく）に見立て、人が使うには小さいのでカラスの名をあててカラスビシャクの名になったという。雌雄異花・同株。